

**キクガシラコウモリ***Rhinolophus ferrumequinum*  
(Schreber)翼手目  
CHIROPTERA  
キクガシラコウモリ科  
Rhinolophidae**カテゴリー**大分県 準  
環境庁 掲載なし**選定理由** 生息洞の消滅，洞内照明の積極化，洞内人為利用の推進などによる生息環境の悪化が懸念される。**県内分布** 県内全域の自然洞，人工洞，暗渠**分布域** 北海道，本州，四国，九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)，伊豆大島，三宅島，八丈島，佐渡島，対馬，五島列島，屋久島  
ヨーロッパ，モロッコからインド北部，中国，朝鮮半島**生息環境** 河川，平地，小丘陵，森林，草原などで採餌。営巣環境として岩裂，自然形成洞，人為造成洞，暗渠などを必要とする。**現 状** 戦時中の防空壕が埋め戻され，石灰洞は掘削され，鍾乳洞は人為的照明が取られるなど生息環境の悪化が県下全域で進行中である。このため，従来の生息利用洞内でも個体数が減少している。**コキクガシラコウモリ***Rhinolophus cornutus*  
Temminck翼手目  
CHIROPTERA  
キクガシラコウモリ科  
Rhinolophidae**カテゴリー**大分県 準  
環境庁 掲載なし**選定理由** 生息洞の消滅，洞内照明の積極化，洞内人為利用の推進などにより生息環境の悪化が懸念される。**県内分布** 県内全域の自然洞，人工洞，暗渠**分布域** 北海道，本州，四国，九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)，伊豆諸島，対馬，志岐，福江島，屋久島，奄美諸島，沖永良部島**生息環境** 河川，小丘陵，森林，草原などで採餌。営巣環境として岩裂，自然形成洞，人為造成洞，暗渠などを必要とする。**現 状** 戦時中の防空壕が埋め戻され，石灰洞は掘削され，鍾乳洞は人為的照明が取られるなど生息環境の悪化が県下全域で進行中である。このため，従来の生息利用洞内でも個体数が減少している。**備 考** 日本固有種の可能性が高い(中国東部にも同一種が分布する疑いがある)。**モモジロコウモリ***Myotis macrodactylus*  
(Temminck)翼手目  
CHIROPTERA  
ヒナコウモリ科  
Vespertilionidae**カテゴリー**大分県  
環境庁 掲載なし**選定理由** これまで生息が確認されていた廃坑や鍾乳洞などでの再確認が極めて少なくなっており，一部生息地の消滅などの危険性が高くなっている。**県内分布** 山国町(草本廃坑)，本匠村(小半洞)，宇目町(天神原洞)**分布域** 北海道，本州，四国，九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)，佐渡島，対馬  
シベリア東部，サハリン南部，朝鮮半島**生息環境** 河川，丘陵地，森林などで採餌するが，森林の内部や樹冠部で確認されることが多い。営巣環境としては岩裂，自然形成洞，人為造成洞など。**現 状** 最近，草本廃坑ではほとんど目撃されなくなり，わずかに小半洞で2～3個体目撃されるにとどまっている。